

日時：令和2年12月4日 7:00～8:00

会場：各施設（Web Meeting；Zoom 使用）

参加者（25名）；今釜史郎委員長 吉田剛 川端茂徳 重松英樹 安藤圭 高橋雅人 谷口慎一郎 岩崎博 田所伸朗 和田簡一郎 山田圭 藤原靖 寒竹司 橋本淳 森戸信治 安田明正 船場真裕 後迫広紀 山本直也 寒竹司 小林和克 各委員、安藤宗治 高谷恒範 松山幸弘 アドバイザー

■議題1：認定医更新における条件について

・2020.10 理事会において（指導医の医療安全単位1単位と同様に）5年で講義1回（1単位）に「規程」変更となった。

「1単位 受講証明証」について 下記の承認をえた。

#1 認定更新のための講義については、JSSR の教育講演などを入れる。

#2 神経生理学会、機能診断研究会などの他学会でも認定更新の受講証明証が発行できる講義を含める。

■議題2：厚労科研：OPLL 研究班における 脊髄モニタリング分科会の新規開設について

・令和2年度から、脊髄モニタリングに関する分科会を OPLL 班研究内に開設。

11/27 OPLL 班会議内 分科会では、初回として、参加施設の確認を行った。

→北海道大学より参加意向にて、OPLL 症例については、データの蓄積と前向き共同研究を予定する。

■議題3：研究進捗：

①現在進行中の研究

- ・杏林大学 高橋委員「WG 策定アラームポイントの妥当性」
- ・名古屋大学 小林委員「多施設 全筋 flat 症例の検討」「多施設 高度肥満症例の検討」
- ・奈良医大 重松委員「脊髄モニタリングの波形低下時における対応チェックリストとフローチャート使用は波形低下要因の把握に役立つか?」、「フリーラン EMG の波形異常出現と麻痺出現の関係性 頸椎椎弓形成術後 C5 麻痺に着目して」
- ・久留米大学 森戸委員「Accuracy of intraoperative spinal cord monitoring and factors of alert transmission during surgery for intradural extramedullary tumors」
- ・浜松医大 後迫委員「脊髄髄内および髄外腫瘍手術に対する経頭蓋電気刺激筋誘発電位の有用性」
- ・山口大学 船場委員「Efficacy of intraoperative neuromonitoring for degenerative cervical myelopathy」

②新規研究

- ・杏林大学 高橋委員 ① FN 例の検討 ② コントロール波形が得られない例の検討 ③ 頸髄症手術のアラームポイント
- ・浜松医大 吉田委員 ①変形矯正手技別の神経障害 ②胸椎 OPLL 関連
- ・名古屋大学 小林委員 ① 脊髄腫瘍における腫瘍高位毎にわけた波形導出特性の検討、② SSEP の有用性検討
- ・奈良医大 重松委員 ① D-wave を併用する・併用すべき手術症例の患者背景は?、② 手術後麻痺発症症例における SEP 波形異常検出の関連性は?、③ 波形低下時のステロイド投与は必要か?（レスキューできる率が上昇するのか?）、④ アジア圏内の他国における脊髄モニタリングの実施状況と日本の状況との比較、⑤ 日本脊椎脊髄病学会会員（脊椎外科指導医）に対するアンケート調査から

- ・久留米大学 森戸委員 ①波形改善が麻痺改善を示唆するか、② 髄外腫瘍の腫瘍位置とアラートの関係
- ・浜松医大 後迫委員 ① 成人脊柱変形矯正手術に対する経頭蓋電気刺激筋誘発電位の有用性
- ・山口大学 船場委員 ① DCMにおける False Positive のリスク因子、② C5 麻痺の克服に向けた、アラームポイントを 50%、70%と段階別な前向き検討
- ・東京医科歯科 橋本委員 ① 頚椎 (OPLL) 前方手術症例の波形変化・麻痺発生の危険因子の検討
- ・広島安佐市民 藤原委員 ① 髄内腫瘍における新規アラーム策定：7 段階カラー分類（トリアージ）法

■その他：

第 42 回脊髄機能診断研究会について 2021 年 2 月 6 日（土）
2020 年 4 月～2021 年 3 月データ提出（提出期限 2021 年 4 月末）

次回開催予定日：2020 年 12 月 5 日（金）7 時 Web Meeting で開催（TP 症例検討、研究進捗）